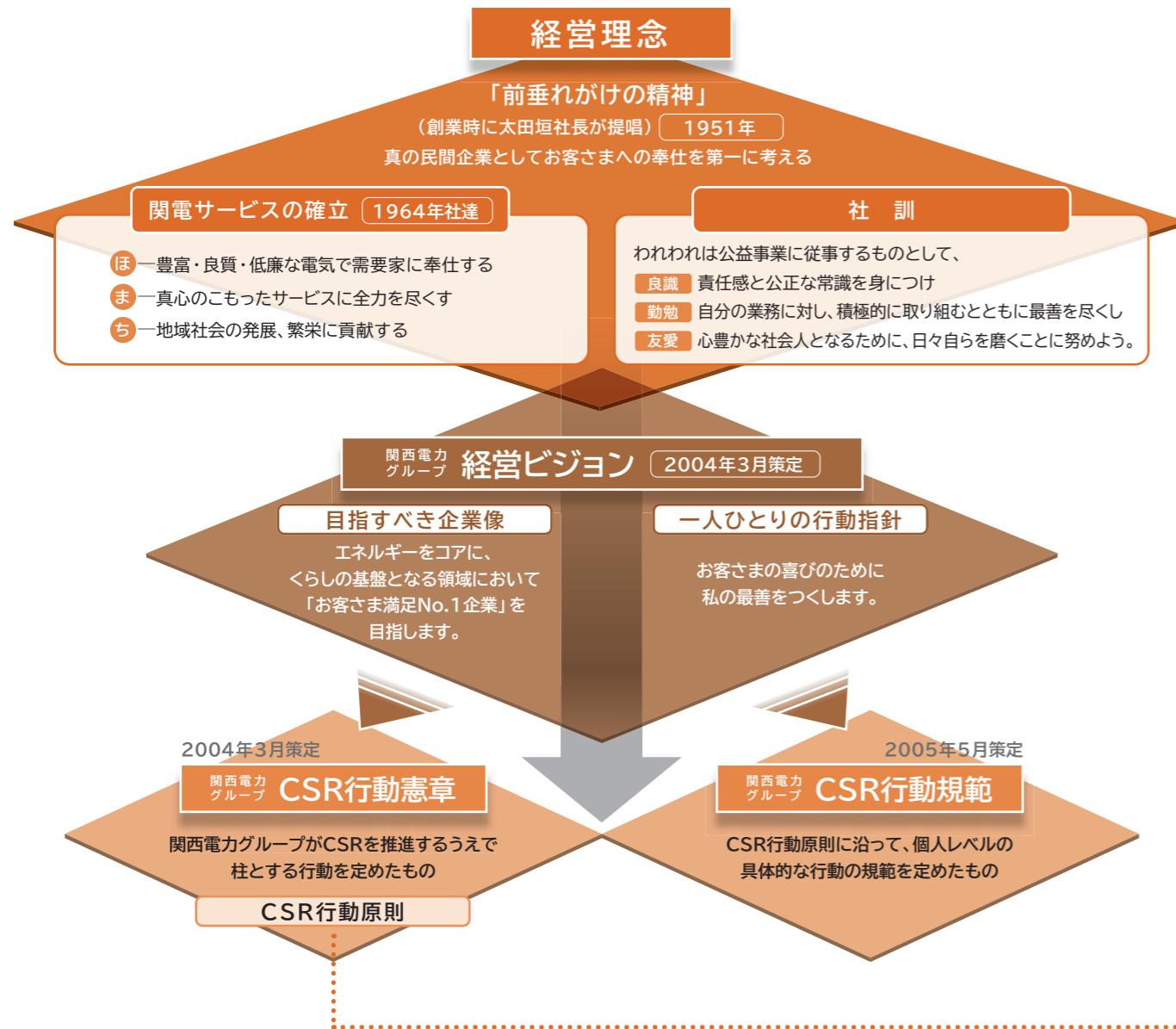


関西電力グループの経営とCSR

関西電力グループは、CSRの全うを経営の基軸とし、「お客さまと社会のお役に立つ」という創業以来の変わらぬ使命を果たし続けます。



経営理念と私たちがめざす姿

創業間もない1951年、初代社長、太田垣士郎は「お客さま奉仕を第一に考える」という「前垂れがけの精神」を提唱しました。今日のCSRともいえるこの方針は、1964年に経営理念「ほ・ま・ち」に再編されます。また、太田垣社長が「良き社風の涵養を」と全従業員に説いた「良識・勤勉・友愛」は、社訓としていまも受け継がれています。その後、経営環境や事業形態が大きく変化するなか、2004年に「関西電力グループ経営ビジョン」を策定し

ました。「お客さま満足No.1企業」という「目指すべき企業像」を掲げるとともに、その実現のための柱として6つの「CSR行動原則」からなる「関西電力グループCSR行動憲章」を発表し、CSRを軸とする経営ビジョンを明確にしました。当社グループは、CSRをグループ全体の確固たる価値観として根幹に据え、「お客さまと社会のお役に立つ」という変わらぬ使命を果たし続けていくため、これまでも、これからもCSRを基盤とした経営を続けてまいります。

関西電力グループCSR行動憲章

関西電力グループの事業活動は、お客さま、地域社会のみならず、株主・投資家のみならず、ビジネスパートナー、従業員、そのほか社会の多くのみならずにより支えられています。こうしたみなさまから頂戴する信頼こそが、関西電力グループが企業としての使命を果たし、持続的に成長を遂げていくための基盤です。関西電力グループは、コンプライアンスや透明性の確保など、社会の一員としての責務を確実に果たすとともに、グループの事業活動に対して社会のみならずから寄せられる期待に誠実にお応えすることにより、社会の持続的発展に貢献し、みなさまからの信頼を確固たるものとしていきたいと考えています。このような認識のもと、関西電力グループは、以下の原則に基づき、すべての事業活動を展開し、企業としての社会的責任(CSR: Corporate Social Responsibility)を全うしていきます。

CSR行動原則

1. 商品・サービスの安全かつ安定的なお届け
2. 環境問題への先進的な取組み
3. 地域社会の発展に向けた積極的な貢献
4. 人権の尊重と良好な職場環境の構築
5. 透明性の高い開かれた事業活動
6. コンプライアンスの徹底

※各原則の本文は1ページをご覧ください

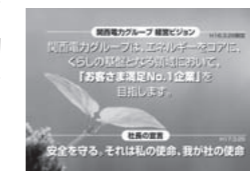
関西電力グループCSR行動規範

■基本姿勢

役員および従業員は、常に関西電力グループの一員としての自覚をもち、品位を保つとともに、社会的良識をわきまえて行動します。また、業務遂行にあたっては、安全の確保を最優先に、関連する法令、企業倫理および社内ルールを遵守して、職務に専念し、お客さまの喜びのために自らの最善を尽くします。

■CSR行動原則に基づいたCSR行動規範

当社グループは、6つのCSR行動原則に基づいてCSR行動規範を設けています。この行動規範は関西電力グループの経営ビジョンとともに携帯用のコンダクトカードに記載し、全従業員に配布しており、従業員は裏面に自らの行動目標を明記し、日々の業務における行動や目標の確認に活用しています。



コンダクトカード

CSR調達方針

当社の購買部門は、設備の最適な形成・維持・運用のために、環境に配慮しつつ、安全・品質・価格面で優れた資機材・サービスを適切な時期に調達しています。このような調達活動は大切なパートナーである取引先のみならずによって支えられており、相互に信頼関係の醸成に努めることはもちろん、透明性の高い開かれた取引やコンプライアンスの徹底など調達活動を通じたCSRを推進していきたいと考えています。

そのため、当社は以下の5項目からなる「調達活動の行動基準」を制定し、その基準に基づき調達活動を実施するとともに、契約交渉時あるいは現場実態調査に伴う工場訪問などの機会をとらえて、取引先に対しCSR調達方針の説明、浸透に努める活動に取り組んでいます。

調達活動の行動基準

1. 安全の最優先、品質・技術力の維持・向上

安全を最優先に考え、設備の最適な形成や維持、運用のための、品質・技術力の維持・向上に資する取組みや対策を講じていきます。

2. 環境への配慮

環境負荷が少ない資機材およびオフィス用品の調達(グリーン調達)を推進し、取引先のみならずと協働して循環型社会の構築に貢献します。

3. 強固なパートナーシップの確立

取引先とサプライチェーンに対して協働して改善に取組むことで、取引先のみならずとの強い信頼関係を構築し、お互いに成長・発展をめざします。

4. 透明性の高い開かれた取引

安全・品質・価格面で優れた資機材やサービスを適切な時期に調達するため、国の内外を問わず、広く門戸を開いています。また、取引先の選定にあたっては、安全性、品質・技術力、環境への配慮、価格、納工期の確実性、保守・管理の実施状況などに基づき、経済的合理性を追求し社会的合理性にも配慮しながら公平・公正におこないます。

5. コンプライアンスの徹底

全ての関係法令およびそれらの精神を遵守し、特に、安全に関する関係法令の遵守、人権尊重(児童労働・強制労働の禁止など)、個人・秘密情報の厳正な管理に充分配慮します。また、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力・団体の活動を助長するような行為はおこないません。

- Web
- 「関西電力グループ経営ビジョン」
<http://www.kepco.co.jp/corporate/vision/index.html>
 - 「関西電力グループCSR行動憲章」
<http://www.kepco.co.jp/corporate/csr/charter.html>
 - 「関西電力グループCSR行動規範」
<http://www.kepco.co.jp/corporate/csr/standards.html>
 - 「関西電力の調達活動」
<http://www.kepco.co.jp/kepa/purchas/index1j.html>

各種委員会による適正かつ円滑な業務遂行

経営全般にわたる重要な業務に関する方針、実施計画などについて、執行の適正化と円滑化を図るため、「計画調整」、「審査」、「審議」の3つの機能を中心とした各種委員会組織を設置しています。主に役付執行役員により構成するこれら委員会を定期的もしくは必要に応じて開催し、常務会の意思決定や各部門の業務遂行を支援しています。

CSR推進会議

CSR推進会議では、当社グループ全体のCSR推進に関する総合的な方針や活動内容を策定するほか、具体的な活動の総合調整とその実施を促進しています。また、各種専門的な課題については「コンプライアンス委員会」や「環境部会」など下部組織にて検討を重ね、方策を策定しています。CSR推進会議で策定された方針は、各部門や各事業所に伝えられ、それぞれにおいて活動が展開されます。グループ各社においても、当社とコミュニケーションを取りながら、自律的にCSR浸透活動を展開しています。

CSR推進体制



●コンプライアンス委員会

コンプライアンス委員会は、当社グループ全体のコンプライアンスに関する総合的方策の策定と、具体的方策の総合調整および実施を促進しています。同委員会の審議を経て、毎年度、策定されているコンプライアンス活動計画は、本店各部門や支店などにおいて、それぞれの所管業務に関する行動計画に具体化され、職場内研修の開催や法令遵守状況のチェックといった活動として実践されます。また、同委員会のもとに設置された「コンプライアンス相談窓口」では、従業員などからのコンプライアンスに関する相談への調査・対応をおこなっています。以上のような活動の状況について、同委員会では適宜、報告を受けて、PDCAが循環していることを確認しています。

●環境部会

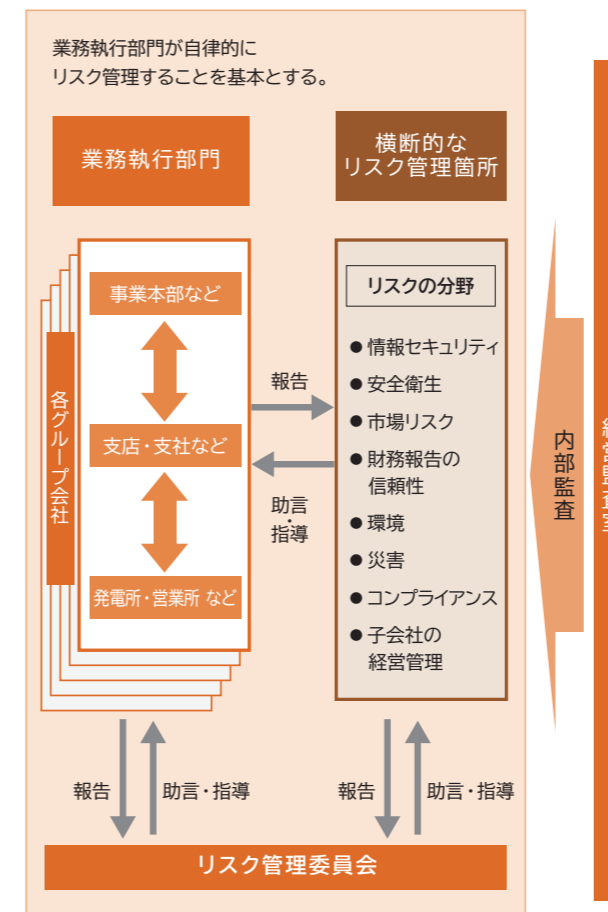
環境部会は、環境問題への先進的な取り組みを組織横断的に推進しています。環境問題に対する各種方針に基づいて、環境管理活動を実施し、循環型事業活動に関する具体的な行動計画「エコ・アクション」を策定しています。加えて、「エコ・アクション」のチェック・アンド・レビューをおこない、環境問題に対する着実な対応を進めています。

■リスク管理委員会

事業活動に伴うリスクは、「関西電力グループリスク管理規程」に基づき、各業務執行部門が自律的に管理をおこなっています。そのうえで、組織横断的に重要とされるリスクに関しては、専門性を備えたリスク管理箇所が、各業務執行部門に助言や指導をおこなうことでリスク管理の強化を図っています。さらに、リスクを統括的に管理する「リスク管理委員会」を設置し、当社グループの事業活動に伴うリスクを適切なレベルに管理するよう努めており、こうしたリスク管理体制のもと、金融商品取引法の定める適正な財務報告およびその信頼性の確保にも積極的に取り組んでいます。

さらに東日本大震災以降の事業環境の大きな変化のなかでのリスクを踏まえ、グループ一体となってさまざまなリスクにも着実に対応しています。

■リスク管理体制



■原子力安全推進委員会・原子力安全検証委員会

美浜発電所3号機事故を契機に、「原子力保全改革委員会」を設置し、事故再発防止対策のフォローと安全文化醸成活動に取り組んできました。2012年6月からは、同委員会の名称を「原子力安全推進委員会」に変更し、これまでの取組みに「原子力発電の自主的・継続的な安全への取組み」を加えて、業務執行を支援しています。

また、社外委員を主体とした「原子力保全改革検証委員会」についても、2012年6月から「原子力安全検証委員会」に名称変更し、引き続き、助言などをおこなっています。

なお、これらの状況については、ホームページなどを通じて広くお知らせすることで、透明性の確保にも留意しています。

■経営監査委員会

品質・安全に関する経営的諸問題を幅広く共有・審議し、社外の見識や情報を取り入れ、公正で専門的な立場からグループ全体の内部監査の適正を保つため、「経営監査委員会」を設置しています。

また、内部監査の専任組織として「経営監査室（38名）」を設置し、リスク管理体制およびリスクの管理状況などについて、定期的に監査するとともに、内部監査計画とその結果について常務会に付議・報告しています。さらに、各職場は監査結果を踏まえ、必要な改善活動をおこなうなど、適正な業務運営の確保に努めています。

なお、経営監査室、監査役および会計監査人は、コーポレート・ガバナンスの重要な担い手として適宜、連絡を取り合いながら監査を実施するとともに、監査計画や監査結果について意見を交換するなど、互いに緊密な連携を維持しています。

企業集団としての業務の適正確保

子会社に対しては、「関西電力グループ経営ビジョン」や「関西電力グループCSR行動憲章」などの経営の基本的方向性や行動の規範について浸透を図るとともに、子会社管理に係る社内規程に基づき、子会社における自律的な管理体制の整備を支援、指導することによって企業集団の業務の適正を確保しています。

また、子会社における重要な意思決定については、当社が事前に関与するとともに、経営状況を定期的に把握することによって、グループ全体の企業価値の毀損を未然に防止するよう努めています。

CSR推進の具体的な取組み

関西電力グループは、お客さまや社会の変化を踏まえて、従業員一人ひとりが日々の業務を確実に遂行することがCSRの実践であり、その積み重ねこそが当社グループのCSR推進に結びつくと考えています。

この考えに基づき、従業員一人ひとりがそれぞれの持ち場で、ステークホルダーの立場に立ち、思いやり、使命感を持って考え、行動できるようさまざまな取組みを展開しています。

経営層と第一線職場のコミュニケーション

当社は、社長をはじめ経営層がさまざまな機会を通じて積極的に第一線職場へ出向き、安全への思いや大切さなどを直接伝え、CSRへの理解の浸透・促進に取り組んでいます。その際には、意見の交換などによって、各職場の課題や問題の早期把握に努め、その後の経営に反映させています。



京都営業所での社長対話

CSRキーパーソンを通じた啓発活動

当社は、各職場でCSR推進の旗振り役となるCSRキーパーソンを選任しており、このCSRキーパーソンが中心となって実施する各職場の自律的な取組みを通じ、全従業員に対して啓発活動をおこなっています。

CSRキーパーソンに対して、2012年度は「変革が求められているいま、リーダーはいかに職場を牽引すべきか」をテーマに、専門家による研修を実施しました。このほかにも、意識啓発に役立つ情報の提供や、良好な取組み事例の共有などを通じ、各職場での活動を支援しています。



CSRキーパーソンを対象とした研修

従業員に対するCSR啓発活動

従業員には「CSRの仕事への根付かせ」と「風土改善活動」という取組みを重点的に継続しておこなっています。また、東日本大震災以降は、大きく変化しつつあるお客さまの意識や社会のニーズを踏まえ、信頼を回復するためには「日々の業務を確実に遂行すること（CSRの実践）」が重要であるとの認識を強め、その実践のための啓発活動に注力しています。

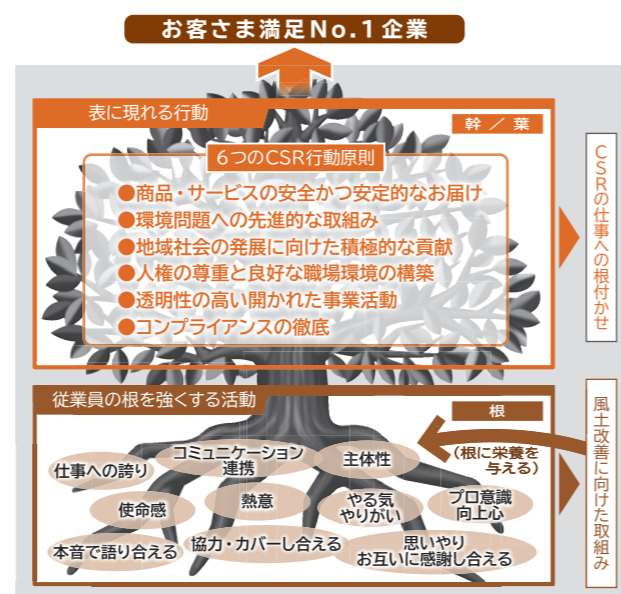
こうした取組みを木に例えると、「風土改善活動」は、直接目に見えない根の部分（従業員としての意識・意欲）に栄養を与え、より強くする活動であり、「CSRの仕事への根付かせ」や「日々の業務の確実な遂行」は、表に現れる幹や葉など（6つのCSR行動原則）を大きく成長させる活動といえます。

このような考えのもと、当社はこれからも各職場・キーマン・全従業員に対する取組みやツール類の充実を図る

とともに、グループ一体となってCSRを推進していきます。

なお、従業員に対するCSR活動については、毎年、全従業員を対象とした「CSRに関する全従業員アンケート」を実施し、分析と評価をおこなっています。この結果は、各部門や各職場へフィードバックし、次年度以降の啓発活動の改善に活用しています。

■CSR推進活動のイメージ



Voice

言い聞かせるより、感じてもらう！！

東海支社では、従業員がやる気を持ち続け、前向きに仕事に打ち込めるよう、工夫を凝らした取組みを実施しています。一つは、懸命に作業に取り組む仲間の姿を支社内で放映するものです。二つ目は、従業員やOBの方に、苦難に立ち向かった体験談を同僚や後輩に向けて熱く語ってもらうものです。これらの取組みはCSR活動の一部ですが、「部門を越えて感動した」「話題を通じてコミュニケーションが活発になった」といった好評を得ています。私自身、従業員に言い聞かせるより、感じてもらうことが大切だと思っており、このような活動を通じ、東海支社の一体感を高めていきたいと思っています。



東海支社
計画グループマネージャー
池口 安幸
(CSRキーパーソン)

各職場での取組み

■若い世代が活躍できる職場形成～教える組織づくり～

……………【姫路営業所】
姫路営業所では、世代間連携を強化し、組織力をさらに発揮するため「ブラザーシスター制度」を導入しています。入社4年目程度までの若手社員と先輩社員がペア（兄弟・姉妹）を組み、業務に関する指導教育をはじめ、不安や悩みの相談など、積極的な対話を促進する仕組みです。若手社員にとっては風通しのよい職場が形成でき、先輩社員にとってはさらなる自己成長を促すといった効果もあり、若い世代が生き活きと活躍できる職場づくりをめざしています。「教える組織づくり」を進めていくことで学びの心を育み、また、さらに新しい時代の教える人材に成長するといった好循環を図りながら、強く魅力のある組織づくりを進めています。



2013年3月ブラザーシスター制度キックオフのようす

■協会社と一体となったコミュニケーション活動を実施

……………【舞鶴発電所】
昼夜を問わず動き続ける舞鶴発電所の運営には、当社や関連電プラント(株)など関西電力グループのほか、多くの協会社が携わっています。発電所が安全・安定運転を継続するためには、発電所で共に働く仲間が、安全への思いや認識を共有するとともに、何でも言い合える開かれた発電所風土の醸成が大切だと考えています。そこで、協会社とのコミュニケーション活動を継続しており、2012年度は舞鶴発電所で組織する安全衛生推進会に加盟する17社の代表者と発電所役職者の計27名を小グループに分け、ディスカッション形式で安全活動に関する事例研修を実施しました。今後も安全・安定運転の完遂に向け、協会社と一体となった取組みを継続していきます。



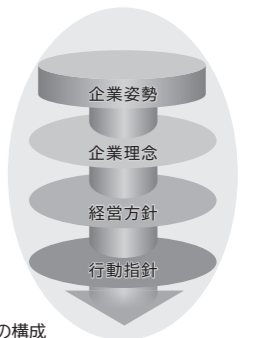
グループ会社や協会社の人々とともに議論

グループ会社での取組み

■カンパニーポリシーの改訂と研修でCSR意識を高揚

……………【(株)かんでんジョイライフ】
介護・看護事業を展開する(株)かんでんジョイライフでは、2012年12月にカンパニーポリシーを改訂し、従業員がめざす方向をより明確にしました。「お客さまの安全確保と満足追求」「従業員の誇り・生きがい重視」「安定した経営」の3つの経営方針を同時達成し、社会的責任を果たす、との思いを従業員全員で共有するよう、社長キャ

ラバンなどを通じて呼びかけ、対話を続けています。また、例年CSR・コンプライアンス研修も実施し、これらにより、従業員のCSR意識の高揚に努め、社会的貢献度の高い介護・看護事業に取り組んでいきます。



カンパニーポリシーの構成

■独自のまんが冊子で意思疎通の大切さを説明

……………【(株)かんでんエルハート】
(株)かんでんエルハートでは、身体・知的・精神障がいのある従業員をはじめ、多様な人材が協働するなか、CSRを実践するうえで基本となる「コミュニケーション=意思疎通」を図るためにさまざまな工夫をおこなっています。その一環として、2012年から『まんがでわかる！職場のマナー！』を発刊し、全従業員に配布しています。これは、「心を込めた挨拶」や「仲間に対する安全と健康の気遣い」のポイントなどを理解しやすいように、従業員が考案したイラストを用いてまとめたものです。今後もこうした取組みを通じて、従業員のCSR意識の向上をめざしていきます。



『まんがでわかる！職場のマナー！』

Voice

働きやすい職場づくりに向け「職場活性化委員会」を発足

当社は、決済・金融サービスの提供を中心に事業を展開しています。2013年度には、「職場活性化委員会」を立ち上げ、「働きやすい職場」に向けて、経営ビジョンや従業員の行動指針の策定、社外研修制度の創設など、新たな取組みを積極的に進めています。働きやすい職場を実現するためには、従業員一人ひとりの声に耳を傾けることが何よりも大切であると考えています。私は職場活性化委員会のメンバーとして、従業員との日々のコミュニケーションを通して一人でも多くの意見を聞き取り、取組みに反映していくことで、CSR推進の原動力となる働きやすい職場の実現に貢献していきます。



(株)クリアパス
経営企画部
末吉 馨